



NewsLetter

2025年4月22日
株式会社Arent

PlantStream Ver. 1.0.29をリリース

～ユーザーインターフェースの刷新と設計支援機能の進化で、さらなる設計効率向上を実現～

当社の子会社である株式会社PlantStream（本社：東京都港区、代表取締役：三木武人）は、プラント設計自動化ソリューション「PlantStream」の最新版Ver.1.0.29をリリースいたしましたのでお知らせいたします。

今回のアップデートでは、ユーザーインターフェースの刷新および動作レスポンスの高速化に加え、パイプラックや機器ストラクチャ周辺におけるルートアシスト機能の精度向上が実現されました。これにより、設計作業の柔軟性と生産性が一層向上することが期待されます。

【継続的な機能アップデートとユーザー起点の開発】

PlantStreamは、約3カ月ごとの定期アップデートを通じて進化を続けており、各リリースでは実利用現場からのフィードバックを重視した改善を実施しています。機能性・操作性の両面から継続的に磨きをかけ、実務にフィットするプロダクトとして成長を続けてきました。

今回のVer.1.0.29もその一環として、多数の利便性向上機能を実装しています。

【主なアップデート内容（Ver.1.0.29）】

- AutoCAD Plant3D形式への主要データのエクスポートに対応

ラックなどの構造物の形状をエクスポートが可能になり、PlantStreamからAutoCAD Plant3Dへの主要データの移行が完了しました。

- ビューの保存機能
視点位置、向き、スケール、クリッピング設定の保存・再適用が可能となり、3Dシーンの管理性が向上しました。
 - ミラーコピー機能の強化
ツールバーからの利用が可能となり、マニュアル配管への対応を含め、操作性と柔軟性が向上しました。
-

【次回バージョン（Ver.1.0.30）での予定機能】

- より高速かつ干渉の少ない自動ルーティング機能の強化
 - ノズルロックパターンによる柔軟な機器ノズル配置の実現
 - 配置図のDWGデータからの特徴点インポート機能
 - FBXデータを機器としてインポートする機能
 - より複雑なラック設計が可能となる新型ラックの先行リリース
-

当社グループは今後も、建設・プラント業界における高度な専門性を活かし、実務に直結するDXを通じてお客様の課題解決に取り組んでまいります。

【株式会社Arentについて】

Arentは、「暗黙知を民主化する」をミッションに掲げ、建設業界に蓄積された専門ノウハウを数学的アプローチと深い業界知識で構造化し、システム化・事業化までを一気通貫で支援するDXスペシャリスト集団です。日本企業が保有する高度なコア技術を見極め、顧客と共にプロダクトとして昇華させ、建設業界が直面する人手不足、長時間労働、低生産性、技術継承といった課題の解決に貢献しています。

■会社概要

会社名：株式会社Arent

本社所在地：東京港区浜松町2-7-19KDX浜松町ビル

代表者：代表取締役社長 鴨林広軌

設立：2012年7月2日

資本金：547,624,665円

事業内容：建設業界を中心としたDXコンサルティング、システム開発、システム販売

コーポレートサイト：<https://arent.co.jp/>

お問い合わせ先：ir@arent3d.com